

# 令和7年度 東京湾口航路事務所 事業実施概要

東京湾口航路事務所  
(神奈川県横須賀市)



令和7年7月  
国土交通省 関東地方整備局  
東京湾口航路事務所

東京湾口航路事務所  
ホームページ  
QRコード



## 目 次

1. 東京湾口航路事務所の事業	1
2. 開発保全航路（東京湾中央航路）の安全管理	2
3. 東京湾（一般海域）の海上浮遊ゴミ回収 ・油回収および水環境観測	3
4. 令和7年度 主な工事・調査事業計画	4

# 1. 東京湾口航路事務所の事業

## ■ 開発保全航路（東京湾中央航路）の安全管理

項目	内容
航路監視	航路調査船「うらなみ」＜2008（平成20）年度～＞、「べいさーち」＜2015（平成27）年度～＞の2隻体制で日々の航路パトロールやカメラ・レーダーによる監視を実施＜2008（平成20）年度～＞
航路管理測量	航路調査船に搭載の測深器にて水深及び海底異常物を日々確認＜2009（平成21）年度～＞。
第二海堡護岸の維持管理	開発保全航路内に現存する第二海堡において、首都直下地震など大規模地震によって崩壊する土砂が航路内に流出する予測されたため、護岸の改修を実施し、維持管理に移行＜2024（令和7）年度～＞

### （ご参考） 整備実績および今後の計画

内容	時期	備考
第三海堡の撤去	2000（平成12）年度～2007（平成19）年度	整備後は、航路管理測量にて確認
中ノ瀬航路の浚渫	2001（平成13）年度～2008（平成20）年度	整備後は、航路管理測量にて確認
第二海堡の護岸改修	2007（平成19）年度～2024（令和6）年度	整備後は、点検結果を踏まえた維持管理
中ノ瀬西方海域の浚渫	調整中	
船舶待避水域の浚渫〔中ノ瀬・木更津泊地〕	調整中	

## ■ 東京湾（一般海域）の海上浮遊ゴミ回収・油回収および水環境観測

項目	内容
東京湾（一般海域）の海上浮遊ゴミ回収・油回収	東京湾をきれいにするため、1973（昭和48）年度から海上浮遊ゴミや浮遊油の回収を実施。 （ご参考） 2011（平成23）年に発災した東日本大震災の際には、東北地方の災害復旧支援のため清掃活動を実施。
東京湾の水環境観測	関係省庁及び自治体が連携して取り組まれている、「東京湾再生プロジェクト」の一環として、水環境観測を実施し、海域の環境改善状況の把握。 水環境観測の結果は、当局が別途運用管理するWebサイト「東京湾環境情報センター」にて公開 ＜URL: <a href="https://www.tbeic.go.jp/">https://www.tbeic.go.jp/</a> ＞

## 2. 開発保全航路（東京湾中央航路）の安全管理

### ● 航路管理監視（船舶によるパトロール）

- ① 海面の異常の有無（漂流物、油など）
- ② 海底の異常の有無（沈下物）
- ③ 海難事故などの発生の有無
- ④ 航路標識ブイの異常の有無（損傷等）



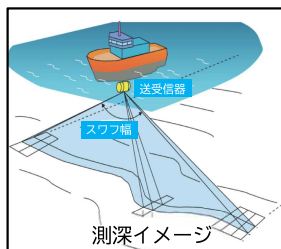
### ● 航路管理監視（カメラ・レーダー）

陸上に設置するカメラ、レーダーにて、事務所の監視室にて日々監視を実施。



### ● 航路管理測量

航路調査船に搭載する測深機（ナローマルチビーム測深機）にて開発保全航路内の水深及び海底異常物を日々確認。



#### <測深方法>

- ・送受信機から扇状に多数のビーム発信して海底の地形をリアルタイムに面的に把握（スワフ測深）。

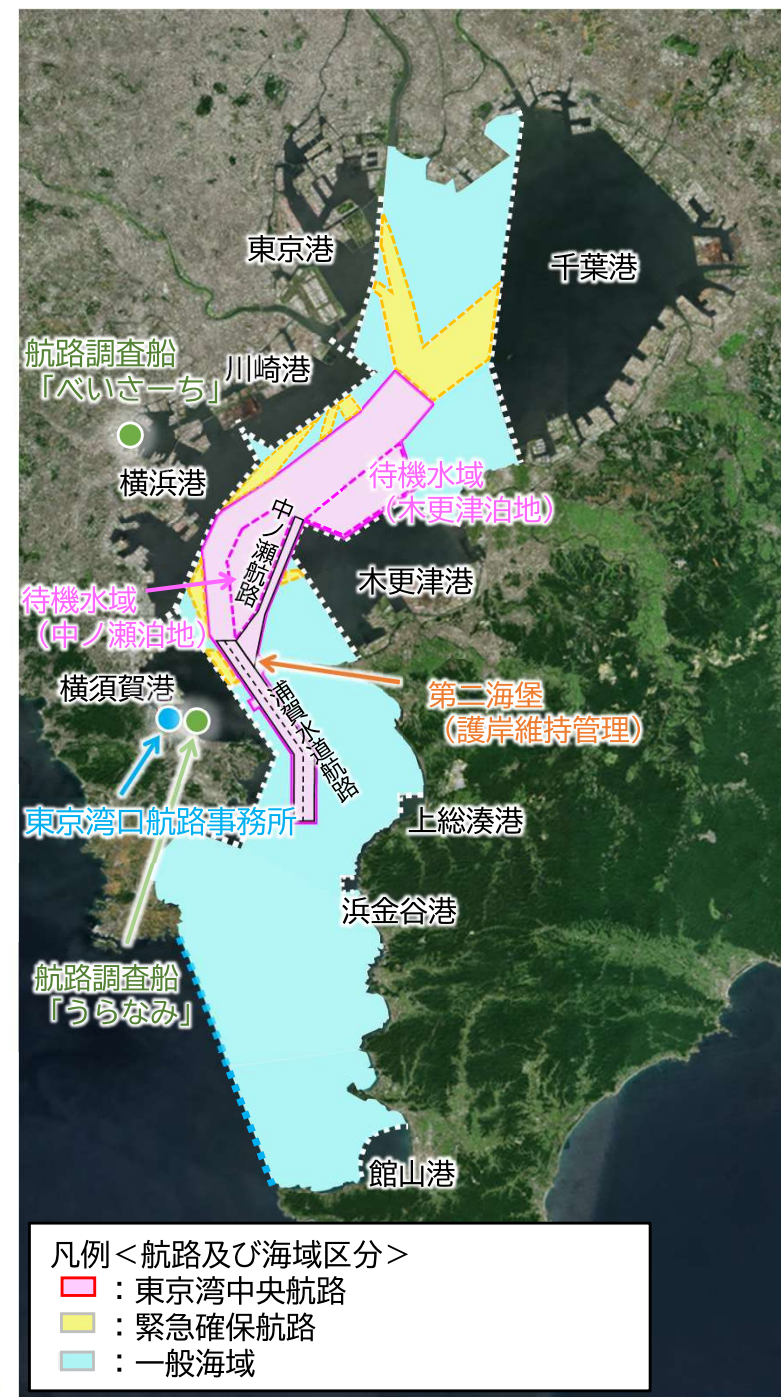
### ● 第二海堡護岸の維持管理

開発保全航路内に現存する第二海堡において、首都直下地震など大規模地震によって崩壊する土砂が航路内に流出する予測されたため、護岸改修を実施し、今後は維持管理に移行。

護岸整備前の第二海堡（平成19年2月撮影）



護岸整備中の第二海堡（令和6年2月撮影）



#### 凡例<航路及び海域区分>

- : 東京湾中央航路
- : 緊急確保航路
- : 一般海域

# 3. 東京湾（一般海域）の海上浮遊ゴミ回収・油回収および水環境観測

## ●東京湾（一般海域）の 海上浮遊ゴミ回収・油回収

1955（昭和30）年から1972（昭和47）年にかけての高度成長による都市生活や産業活動の発展にともない、湾岸に大都市や大規模なコンビナートが立ち並んだことと、そして東京湾が陸地に囲まれた閉鎖的な形状の海であることから、その海域に流れ出る汚染の度合いが急激に高まり、東京湾の環境は一時急激に悪化。

これを契機に、1973（昭和48）年から政府が直接「海洋環境整備事業」として一般海域における海上浮遊ゴミなどの回収を開始。

昨今は、主に大雨などで海域に流れ出した流木や生活ゴミなどを回収。

環境に対する意識が向上された結果、水環境は好転傾向。



清掃兼油回収船「べいくりん」(2代目)

### <船名の由来>

- ・清掃兼油回収船の名称は、一般の方からの公募により決められました。多数の応募の中から、『ベイ（湾）をクリーン（きれいに）にする』という意味をもつ“べいくりん”が選ばれたのです。まさに、私たちの願いそのものの船名です。
- ・その名は、令和4年より就航している2代目にも引き継がれました。



「べいくりん」による海上浮遊ゴミの回収の様子



回収された様々な浮遊ゴミ

## ●東京湾の水環境観測

1977（昭和52）年度から水質調査を実施。現在、海上保安庁及び国土交通省を中心とする関係省庁及び自治体が連携して取り組んでいる、「東京湾再生プロジェクト」に位置づけて、海域の環境改善対策、環境モニタリングを継続実施。

今後も美しさを取り戻した東京湾を汚染された海に戻さないために観測に取り組む。

調査項目	特徴	調査方法
水温	海洋構造（躍層の形成など）の把握	多項目水質計（自動測定装置）
水色	赤潮や青潮の発生を確認するための指標	目視
透明度	水のきれいさの指標	目視
浮遊物質量(SS)	生物が生息するための目安	採水・分析
濁度	濁りの程度を表す指標	多項目水質計（自動測定装置）
溶存酸素量(DO)	赤潮など異常現象の把握の目安	多項目水質計（自動測定装置）
化学的酸素要求量(COD)	有機物汚濁を確認する指標	採水・分析
全窒素(T-N)	富栄養化の指標	採水・分析
全りん(T-P)	富栄養化の指標	採水・分析
クロロフィルa	植物プランクトンなど藻類の存在量の指標	採水・分析
塩分	海洋構造（躍層の形成など）の把握	多項目水質計（自動測定装置）
水素イオン濃度(pH)	赤潮など異常現象の推察に活用	多項目水質計（自動測定装置）

凡例  
 <海洋環境整備事業範囲>  
：一般海域

<水環境観測地点>  
：連続観測地点  
：定点観測地点（1回/月）

# 4. 令和7年度 主な工事・調査事業計画

形態	事業区分	地区	工事・業務件名	令和7年度												概要他		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
請負	工事	第二海堡	(予定) 東京湾中央航護岸維持補修工事															概要： 第二海堡の護岸維持補修 工期： R7.8月上旬 ~ R8.3月下旬
		開発保全航路	東京湾中央航路	(予定) 東京湾中央航路深淺測量														
	東京湾中央航路		(予定) 東京湾中央航路磁気探査															概要： 中ノ瀬西方海域際の磁気探査 工期： R7.7月中旬 ~ R7.12月下旬
	東京湾中央航路		(予定) 東京湾中央航路施工検討他業務															概要： 中ノ瀬西方海域際の浚渫工事に向けた施工検討 工期： R7.7月中旬 ~ R7.12月下旬
	海洋環境整備		東京湾湾奥部	東京湾湾奥部多項目水質連続観測調査他業務														
		東京湾湾口部	東京湾湾口部水温連続観測調査他業務															概要： 水温連続観測機器保守点検（中ノ瀬航路第四号灯標、金田湾、富浦湾） 水質調査（湾口部3地点） 工期： R7.4.1 ~ R8.3.31（継続実施）
直営	調査	東京湾内（一般海域）	東京湾中央航路水質分析（海水採取のみ）														概要： 海水中の放射能測定のための当局航路調査船による海水採取（1地点） 工期： R7.4.1 ~ R8.3.31（継続実施）	
	環境	東京湾内（一般海域）	東京湾の浮遊ゴミや油を回収														概要： 当事務所所属の清掃兼油回収船「べいくりん」による東京湾（一般海域）の海上浮遊ゴミや油を回収 工期： R7.4.1 ~ R8.3.31（継続実施）	

※注）件名、工期、現場施工期間等に変更となる場合があります。